



大学、高等専門学校、国立試験研究機関の
研究支援者のみなさまと一緒に！

We are Accelerating

IP Acceleration program for Academic R&D projects

Innovation

～知財支援はiAca(アイアカ)～



研究支援者のみなさん

こんなお悩みを抱えていませんか？



発明相談に来られる研究者はいつも決まった数名。より多くの研究者を訪問して、研究シーズの芽を早く探し出し、その社会実装に向けた支援をしたい。

スタートアップ設立に意欲的な研究者がいて、研究シーズの有用性もよくわかる。次のGAPファンドの獲得に向け、どのビジネス分野を狙えばよいか、方向性が定まらない。



研究者は様々な応用分野での企業との共同研究に意欲を見せている。社会実装を目指すにあたり企業と揉めないように知財マネジメントを行いたい。

気づいて！出願・権利化の相談が来る前からの支援が大切なことに

iAca ではイノベーションの促進に向け、
以下のような支援が可能です！

発明発掘

より多くの研究者から有望なシーズが！



有望なシーズを発掘し、
社会実装を見据えた知財戦略を構築

スタートアップ創業

ビジネスモデルの構築



ビジネスモデルに基づく知財戦略を提案し、
GAPファンド獲得の実現

大型共同研究支援

共同研究成果の事業化実現



企業との共有特許の取り扱い(持ち分など)を
整理した上で、企業とライセンス契約締結



大事なポイントを見逃さないためにも、
ぜひ、**iAca**(アイアカ)をご活用ください！



What is iAca

iAcaとは?

日本国内の大学等の優れた「知」である研究成果を、広く社会へ還元し、更なる研究の発展や社会実装へとつなげていくために、知的財産権は重要な役割を担います。

iAca(アイアカ)は、大学・高専・国研を対象として、知的財産マネジメントの専門家である**知財戦略プロデューサー**を派遣し、研究成果の迅速な社会実装を支援することにより、イノベーションの実現を目指すことを主な目的とする知財支援事業です。支援スキームは3つあり、研究の初期段階におけるシーズ発掘と出口戦略の策定(スキーム①)から、優れたシーズの事業化に向けた産学連携活動(スキーム②③)までシームレスに支援ができることが特徴です。



知財戦略プロデューサー

派遣



大学など

大学フェーズ	産学連携フェーズ
スキーム① 有望なシーズの発掘・活用支援	スキーム② スタートアップ創出支援 スキーム③ 企業との大型共同研究支援※

※共同研究受入額が年間1000万円以上

- ✓ 年1回の公募
- ✓ 支援期間は約**10ヶ月**、連続した継続支援も可能
- ✓ 必要な日数分だけ、柔軟な支援が可能(支援期間ごとに最大25~30日)
- ✓ 支援開始時に支援計画を作成。継続支援には支援計画の達成が必要

知財戦略プロデューサーはどのような人?



大手法律事務所の弁理士との兼業タイプ。大手電機メーカーや調査会社のバックグラウンドを持つ。ベンチャーや、スタートアップへの支援経験が豊富。



元大手総合化学メーカーの知財部長。現在は大学発ベンチャーの知財担当として活躍し、様々な分野において20以上の大学への支援実績あり。

知財戦略
プロデューサー
一覧はこちら!



支援内容等

スキームごとの支援日数と、支援内容例は以下の通りです。申請時の希望支援内容と希望支援日数に基づき、INPIが決定します。下記以外にも、知財戦略プロデューサーと協議の上、支援可能です。

スキーム①

有望なシーズの発掘・活用支援

支援日数	15～25日程度
支援内容例	(ア)優れた研究成果を有する派遣先大学等の研究者の特定(例えば、論文・学内DB等から研究者候補のリストアップや、研究者の研究成果に関連する技術・市場調査等) (イ)派遣先大学等のリサーチアドミニストレータ(URA:University Research Administrator)や産学連携担当者とともに研究者への個別訪問を行うことによる、優れた研究成果の発掘やシーズの特定 (ウ)発掘したシーズや研究成果の活用(企業との大型共同研究やスタートアップ起業等)についての検討 (エ)上記(ア)～(ウ)を踏まえた社会実装に向けた知財を含む出口戦略の策定

スキーム②

スタートアップ創出支援

支援日数	15～30日程度
支援内容例	(ア)スタートアップの創業・運営に関すること (イ)事業化に向けて想定されるビジネスモデルに関すること (ウ)ビジネスモデルに基づく知財戦略策定 (エ)特許、意匠、商標の情報調査、市場動向の調査分析等に関すること (オ)事業化に必要な発明の発掘、及び出願、権利化に関する助言 (カ)知財ポートフォリオ構築に関すること (キ)ノウハウ・データ等の秘密管理等に関すること (ク)特許等侵害のクリアランスに関する助言 (ケ)ライセンス(新株予約権の活用を含む。)に関すること

スキーム③

企業との大型共同研究支援

支援日数	15～30日程度
支援内容例	(ア)研究開発戦略・事業化戦略と、それに基づく知財戦略策定 (イ)プロジェクトに関連する知財(フォアグラウンド・バックグラウンドIP)等の取扱い・契約に関すること (ウ)プロジェクトに関連する特許のライセンス方針に関すること (エ)特許、意匠、商標の情報調査、市場動向の調査分析等に関すること (オ)プロジェクトで生まれる発明の発掘、出願及び権利化に関する助言 (カ)知財ポートフォリオ構築に関すること (キ)ノウハウ・データ等の秘密管理等に関すること (ク)共同研究契約の更新や、共同研究先との異なる研究テーマでの新たな共同研究の締結に関すること

費用

無料で
利用可能

対象 iAcaの対象は以下の通りです

- ◎日本国内の大学または高等専門学校 ※
- ◎国立試験研究機関、国立研究開発法人、特定国立研究開発法人

※学校教育法(昭和二十二年三月三十一日法律第二十六号)で定めるところの大学または高等専門学校

01 解決したい課題

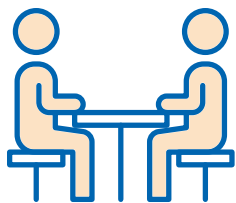
- 薬学部、理工学部共に、企業との共同研究等につながる有望なシーズを発掘したい。
- シーズに合った出口戦略を策定し、それを実行できる知財戦略を構築したい。



02 支援ステップ

知財戦略プロデューサーが、
研究支援者や研究者の皆さまと一緒に、計画を立てます！

STEP
01



シーズ特定

STEP
02



出口戦略の策定

STEP
03



出口戦略を踏まえ、
次のステップへつなげる

03 支援内容

シーズ特定



研究者情報の収集

- 知財戦略プロデューサーからURAに、有望なシーズを有する研究者を特定するにはどのような情報が必要か伝えます。例えば、研究者の特性(近年の学会・論文発表数)や、獲得した競争的研究費の情報が考えられます。



シーズを特定

- 研究者の情報に基づき、共同研究の実現可能性やシーズの市場性等を検討し、有望なシーズを有する可能性が高い研究者を特定します。特定した研究者へヒアリングし、有望なシーズを特定します。

出口戦略の策定



- 特定した研究者へのヒアリングを通じて、研究者の最新の研究状況や将来の研究の方向性を把握し、市場動向調査を踏まえてシーズの用途や市場を検討し出口戦略を構築します。
- 研究者が想定していない応用範囲の探索と提案を行い、研究の学術的発展の方向性の選択肢を広げると共に、社会実装の方向性を示します。

04 支援現場からの声

研究支援者



研究者情報リストから、有望なシーズを有する研究者を特定し、ヒアリングを実施しました。知財戦略プロデューサーによる研究者ヒアリングへ同席することで、研究成果の出口戦略の策定方法がわかり、大変効果的でした。

市場動向を考慮した今後の研究方針を踏まえて知財の価値を最大化するとともに、知財に関するリスクも特定し予防的対策を検討しました。

知財戦略プロデューサー



01 解決したい課題

- 3～4年後に材料系のスタートアップ設立を目指しているものの、コア技術を応用展開できる分野が自動車、建設、医療等多数あり、狙うべき市場が絞り切れていない。
- スタートアップ設立に必要なビジネスモデルと知財戦略を構築したい。



02 支援ステップ

知財戦略プロデューサーが、
研究支援者や研究者の皆さまと一緒に、計画を立てます！

STEP
01



狙う市場の
絞り込み

STEP
02



ビジネスモデルの
構築

STEP
03



知財戦略の策定

03 支援内容

狙う市場の絞り込み



研究者の構想を把握

- 研究者へのヒアリングや提供資料に基づき、狙う市場を俯瞰する分析マップを作成します。
- 展示会で関係企業へヒアリングするなどして、研究者やURAと共に情報を収集します。



調査に基づいて分析

- 市場動向の調査結果を踏まえ、経済効果等の社会的インパクトや、競合企業の精査を行います。

ビジネスモデルの構築



研究者



URA

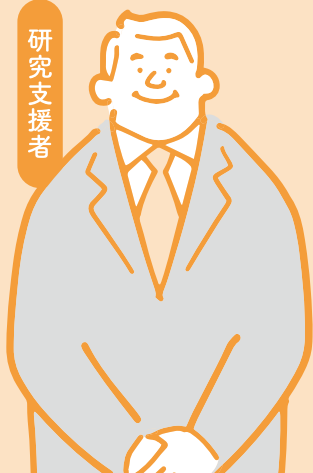


知財戦略
プロデューサー

- ビジネスモデル仮説を設定し、競合優位性向上の方策について提案します。
- ビジネスモデルのブラッシュアップのために、研究者と共に、スタートアップのCEO候補との定期的な打合せに同席します。
- ビジネスモデルを実装するにあたり、連携候補となる企業を提案します。

04 支援現場からの声

研究支援者



狙うべき市場や、企業と共有している特許に関する助言・提案を受けたことで、ビジネスモデルを構築することができました。それによって、具体的な次のアクションが明確になったことが、大変ありがたかったです。

コア技術の用途先と市場性を見極めた上で、設立予定の材料系スタートアップのビジネスモデルを構築しました。今後はビジネスモデルのブラッシュアップを図り、知財ポートフォリオ構築の支援を行う予定です。

知財戦略プロデューサー



01 解決したい課題

- 共同研究先企業による事業化に向けて共同研究をさらに拡大していきたいものの、抜け漏れのない知財ポートフォリオを構築できておらず、次の研究開発戦略が立てられていない。



02 支援ステップ

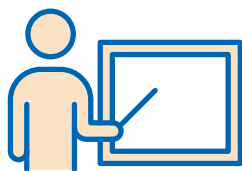
知財戦略プロデューサーが、
研究支援者や研究者の皆さまと一緒に、計画を立てます！

STEP
01



コア技術の
特定

STEP
02



知財ポートフォリオ
の分析・構築

STEP
03



研究開発戦略の
立案

03 支援内容

コア技術の特定



文献調査

- 研究論文・保有している知財を読み込み、シーズの現状分析をします。



ヒアリング

- 研究者・共同研究先企業にヒアリングすることで、事業化に向けた展望などを整理します。

知財ポートフォリオの構築



コア技術を要素分解



保有している知財

統合



知財ポートフォリオ

統合



特許情報調査

- コア技術を応用用途ごとに整理し、知財ポートフォリオ構築に必要な分析軸を作成します。
- 分析軸に対して、保有している知財と特許情報調査の結果をマッピングすることで、今後研究開発が必要となる技術的な領域を抽出します。

04 支援現場からの声

研究支援者

大学が有する現状の知財ポートフォリオを詳細に分析し、強み・弱みを指摘いただいたことで、今後狙うべき市場や、曖昧だったビジネスモデル、知財戦略における課題が明確になり、大変心強かったです。

事業化／量産化につながる研究方針の助言、企業との交渉を踏まえた知財価値を顕在化させる活用戦略の立案に加え、将来のライセンス方針についても議論しました。

知財戦略プロデューサー

iAcaの支援を希望される方へ



最新の公募情報は、
iAca特設サイトをご覧ください。
以下の情報も公開中です。

- 知財戦略
プロデューサーの一覧
- 派遣先の一覧

詳しくはこちら



いつでも使える相談窓口

INPITの **アカデミア知財支援窓口** にご相談ください！

INPITでは、アカデミア知財支援窓口にて、
常時、大学等を対象として知財に関する相談を受け付けています。

- 共同研究やスタートアップの創業を進めたいが、学内の知財規程が整っていない
- 共同研究先の探索方法が分からない
- 大学発スタートアップとの知財契約について悩みがある
- 研究支援者内の勉強会の講師をしてほしい

そのようなすぐに相談したいお困りごとがあればお知らせください。
知財に関する専門人材 (**知財戦略エキスパート**) が、無料で支援します。

ご相談はこちら



連絡先

INPIT(独立行政法人 工業所有権情報・研修館) 知財戦略部 イノベーション・企画担当
TEL:(代表)03-3581-1101 内線3909
E-mail:ip-sr05@inpit.go.jp